

低炭素ライフスタイルイノベーションを展開する評価手法構築事業

(担当：地球環境局地球温暖化対策課)

26年度予算額(案) 2.5億円

目的・意義

家庭における温暖化対策を一層推進するためには、ドラスティックなライフスタイルの転換が必要であり、高効率機器等効果的な先進技術の導入だけでなく、地域の生活様式・気候の特性や、高齢化等の社会構造の変化に応じた転換を検討することが必要です。

このため、地域に根付いた先人の知恵や伝統技術、絆等も活かした真に豊かな低炭素ライフスタイル(New Low-Carbon Life Style)を創出し、この成果から、新たなライフスタイルを展開する評価尺度を検討し、地域に応じた真に豊かな生活に着目した指標(Non-energy benefits)の確立を目指します。

事業内容

●低炭素ライフスタイルの効果実証

未来型ライフスタイルを一定期間試行・改善し、生活の豊かさとCO₂削減効果を定量的に評価・実証します。

●住まい方・自然の力を活用した技術等の評価手法構築

快適性、健康性、知的生産性等、環境以外の価値として生活の豊かさの定量的な評価を検証し、新しい暮らし方の評価手法(NEB指標等)を構築します。

例1：自然や地域性を利用したパッシブ手法等による効果

- ・自然換気、自然採光による快適性向上やCO₂削減効果
- ・緑化による放射環境の改善と自然共生
- ・CLT(直交集成板)の活用等地域資源の利用
- ・地域特性に応じた空調のチューニング
- ・伝統的町屋における「古人の知恵」の再評価

例2：住まい方の工夫等による効果

- ・生活空間のシェアによる生活の豊かさとCO₂削減効果
- ・個々のライフスタイルに合わせた設備の運用最適化

例3：集合世帯における対策効果

- ・賃貸住宅の環境性能向上・入居者のCO₂排出量評価
- ・福祉施設における温暖化対策と生活の質(健康性)等の評価



委託内容

1. 委託対象者：民間事業者、研究機関等
2. 対象事業：未来型ライフスタイルを一定期間試行し、生活の豊かさとCO₂削減効果を定量的に評価・実証する。快適性、健康性、知的生産性等、環境以外の価値(Non-energy benefits)として生活の豊かさの定量的な評価を検証し、新しい暮らし方の評価手法を検討する。

カーボン・オフセット等に用いる J-クレジットの創出事業

(担当：地球環境局地球温暖化対策課市場メカニズム室)

26年度予算額(案) 6.1億円

(一般会計の予算額(案)を含む)

目的・意義

オフセット・クレジット(J-VER)制度と国内クレジット制度が統合して新たにスタートしたJ-クレジット制度のもと、クレジットを創出する中小企業や農林業分野の温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクトを推進することで地球温暖化対策を推進するとともに、クレジットによる資金還流と地域資源の活用や雇用の確保など地域振興を目的として、事業者支援や対象プロジェクト種類の拡充等を行い、制度の信頼性向上と普及を図ります。

事業内容

(1) 制度運営

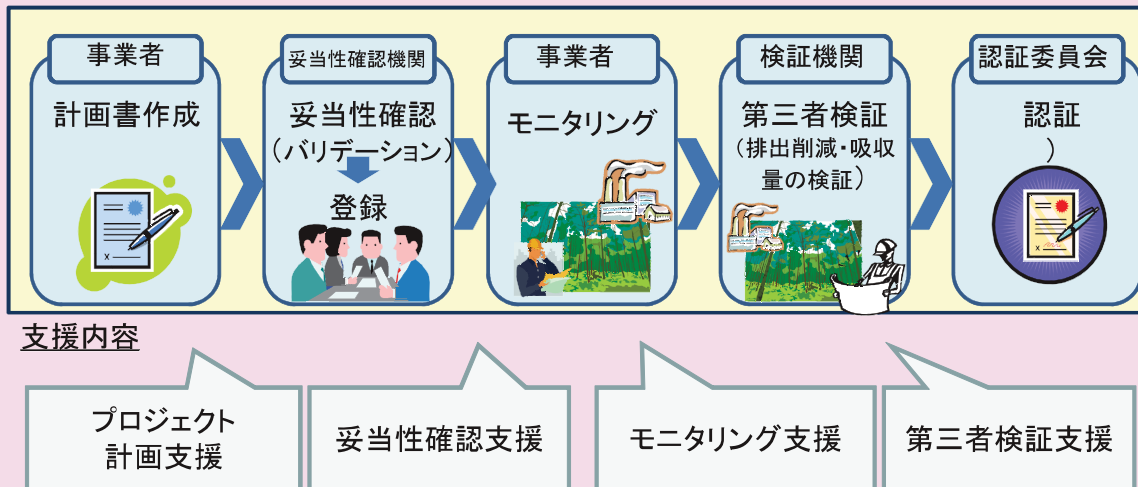
J-クレジット制度について、制度の円滑な運営と適切な情報提供を行います。

(2) クレジット創出支援

プロジェクト種類について、広く一般よりプロジェクト種類に関するアイデアを募集し、そのモニタリング精度、検証可能性、事業実施可能性等を勘案しつつ、当該プロジェクトの計画・評価(方法論等の策定)を行います。

(3) 方法論策定支援

GHG 排出削減プロジェクトを実施し、J-クレジット制度の認証を受けるために必要となる認証申請や検証等のプロセスについて支援を行います。



委託内容

1. 委託対象者：民間団体等
2. 対象事業：(1) J-クレジット制度の運営
(2) 新規プロジェクトの方法論の策定支援
(3) 認証申請や検証等のプロセスの支援を通じたクレジットの創出支援